

念願の帰郷広報

神奈川地本厚木募集案内所（所長 酒井 一海尉）は、7月5日（日）、大和市内において、平成26年度防衛医科大学校看護学科入校者による、同学看護学科受験希望者に対する帰郷広報を支援した。

本件は、同学科の先輩学生からの提案で「去年、私も現役の看護学科の方と話す機会を作ってもらい話を聞くことで、かなり不安が解消され看護学科に入りたい気持ちも益々強くなった。後輩にもそうあってもらいたい」との思いから実現した。受験希望者も現役学生の話聞くことで、細かい情報を仕入れることができ、不安を解消する一助となった。

厚木募集案内所は、「今後も、入隊・入校した隊員から最新の情報を得られるよう、入隊後も密接な関係を築くとともに、創意工夫を凝らし、対象者目線の新鮮な情報提供に努めていく」としている。



募集パンフレットを用いて説明している看護学科学生（左側）

第3回東日本大震災スタディツアー－災害派遣講話

神奈川地方協力本部小田原地域事務所（所長 林一陸尉）は、7月5日（水）、第3回東日本大震災スタディツアー（主催：小田原市青少年育成推進員協議会）の事前教育において、「東日本大震災における自衛隊の活動について」と題し、中高生、保護者及び実行委員の約70名に対し、災害派遣講話を行った。

実際に東北で災害派遣に従事した厚木募集案内所所長が、東日本大震災の概要、海上自衛隊の概要、自衛隊の即応態勢等について説明すると、参加者は興味深げに耳を傾けていた。

小田原地域事務所は、「地域に密着した様々な広報活動を展開して、自衛隊の活動等を紹介し、意識の高い生徒の志願者を獲得することで、自衛官等募集に努めていく」としている。



災害派遣講話をする厚木募集案内所所長



会場の様子

募集相談員と募集広報

神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 宮山2陸尉）は、7月8日（水）、相鉄線二俣川駅前（横浜市旭区）において、募集広報を行った。

横浜市内でも利用者の多い相模鉄道二俣川駅前で、受験シーズン前に自衛隊をPRしようとして、募集相談員会長をはじめ3名が応援に駆けつけ、多くの利用者にリーフレットを配布するとともに、広報官と相談員で連携を取り、制度説明やアンケートも行った。

横浜中央募集案内所は、「今後も、募集相談員と連携を図り、地域で自衛隊をPRし、目標に向かって邁進していく」としている。



協力していただいた募集相談員



アンケートの様子